

おはようございます。

4月1週目掲示板の言葉です。

今年の冬は、非常に寒く感じました。そうかと思えば急に温かい日があるなど、寒暖差が激しいように感じます。

日本人の好きな花で日本人の心のように扱われる桜が、今年は咲くのだろうかと心配していましたがきれいな花が至るところで見られます。

日本人が桜に魅了されるのは、寒い冬を乗り越えて温かい春を迎えて咲く。そして満開になったと思いきや、雨風が強ければ、次の日にはすっかり見頃を終えてしまう。

そのようなことから、春を待ち焦がれる心や命の儚さや名残惜しさを桜から感じ取り、自分自身と重ね合わせて捉えるからでしょうか。

私たちの命は、限られた「いのち」です。限られた命の中で、仕事、家庭、対人関係、子育て、自分の将来、健康やお金のこと等、幸せな事より悩み事の方が多く重たくのし掛かっている毎日ではないでしょうか。良寛さんのこの詩からは、「限りあるからこそ、」今生きている命を「如何に生きるか」、過去（歴史）を学び、現在に生かし、大事に生きていって欲しいと私に訴えかけているように感じます。

言葉の選択&感想 なまくら坊主